

令和2年度 美浜町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

(単位:円)

No	交付金対象事業名	担当課	事業の概要 ①目的、事業の対象者等 ②交付金を充当する経費の内容	総事業費	うち 交付金 充当額	効果・検証 ①成果(具体的な数値を記載) ②検証(評価)	課題等 ①課題 ②今後の方向性
1	がんばる美浜人応援商品券発行事業	産業振興課	①地域における消費を喚起・下支えすることを目的に、町内店舗で使用できる商品券(1万円分)を全町民に配付する。 ②使用された商品券に係る負担金	92,245,053	85,572,000	①対象者9,345人に1人1万円分の商品券を配付した。(商品券取扱店113店) 町内消費額約9,224万5千円による経済効果があった。 ②町内産業の活性化及び町民の経済的な負担軽減を図ることができた。	①新型コロナウイルス感染症の長期化による景気の低迷 ②新型コロナウイルス感染症の影響が長期化することが見込まれる場合に適宜支援策を検討する必要がある。
2	マスク全戸配布事業	総務課	①マスクの品薄が続く中で、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、マスクを備蓄するとともに、町内全世帯に配布する。 ②マスク購入費	18,800,000	15,560,000	①マスク400,000枚を購入し、389,100枚(3,658世帯)配布した。 ②町内3,658世帯にマスクを配布することで、感染症の拡大防止を図るとともに、町民のマスク不足に係る不安を軽減させることができた。	①マスクの配布については、迅速かつ確実に配布するため、町職員が各世帯を訪問したが、感染のリスクもあった。再度実施する際は、業者等との連携も含め配布体制の検討が必要である。 ②マスクの品薄が解消されたため、令和3年度以降の事業継続の予定はない。
3	福井県経営安定資金利子補給事業	産業振興課	①福井県経営安定資金(新型コロナウイルス対策分)を受けた町内中小企業者を対象に、その利子補給を行う。 ②経営に支障が生じている事業者への利子補給に係る費用	7,241,805	7,001,000	①利子補給件数:62件、総融資額:14億1,400万円 ②福井県経営安定資金(新型コロナウイルス対策分)を受けた町内中小企業者に対し、利子補給を行うことで、経営の安定化を図ることができた。	①新型コロナウイルス感染症の収束の見込みが立たず、町内事業者の資金繰りは引き続き厳しい状態になることが見込まれる。 ②利子補給の支援について、令和12年度まで実施する。
4	子育て世帯応援事業	健康福祉課	①休校や休園により特に影響を受けている子育て世帯に対して商品券を配付し、その生活を応援するとともに地域における消費の喚起・下支えを行う。 ②使用された商品券に係る負担金	12,272,947	11,000,000	①町内に住所を有する18歳までの児童(就学等の為に町外に転出している者を含む)1,240人に対し、額面金額1万円の町内の店舗等で利用できる商品券を配付した。 町内消費額約1,227万円の経済効果があった。 ②新型コロナウイルス感染症拡大により休園・休校等の影響を受けた子育て世帯の経済的負担の軽減に寄与するとともに、町内の消費喚起につなげることができた。	①特になし ②緊急事態宣言に伴う子育て世帯への支援策として実施したものであり、令和3年度以降の実施予定はない。しかし、子育て世帯に対する支援については、国・県の動きを注視しながら、状況に応じ検討していく。
5	中小企業休業等要請協力金事業	産業振興課	①福井県からの要請に基づき、休業または営業時間の短縮に応じた町内企業等に対して協力金を給付する。 ②県事業の負担金	5,500,000	5,000,000	①休業要請対象施設 中小企業 9件 450万円 個人事業主 43件 860万円 時短営業対象施設 中小企業 8件 200万円 個人事業主 14件 140万円 ※町負担 1/3 550万円 ②福井県緊急事態措置に伴う要請により実施し、新型コロナウイルス感染症拡大抑制及び協力事業者への補填を図ることができた。	①新型コロナウイルス感染症の流行状況により実施期間の検討が必要 ②福井県緊急事態措置により実施したものであり、令和3年度以降の実施予定なし。
6	避難所防災備品購入	エネルギー政策課	①災害時避難所に、感染症拡大防止のための防災備品を整備する。 ②備品等購入費	8,198,300	7,000,000	①町内各指定避難所に体温計30台、パーテーション及び屋根130張、エアーマット260個、スポットクーラー10台、大型扇風機10台を新たに備蓄した。 ②感染症対策用の備蓄品を各避難所に配備することにより、避難所開設した場合の感染症拡大防止の強化につながった。	①今回購入した感染症対策備品の経年劣化等による故障・破損時の入れ替えの検討が必要 ②今後も感染症対策備蓄品として、引き続き整備していくかどうかを検討していく。
7	「美し美浜の宿」お泊りキャンペーン事業	観光戦略課	①町への誘客を促進するため、第1弾として、福井県民を対象に町内宿泊に係る割引キャンペーンを実施する。また、第2弾として、北陸三県居住者を対象に町内宿泊に係る割引キャンペーンを実施する。 ②宿泊割引分負担金	10,446,000	10,440,000	①割引実績数:(第1弾)1,847人、(第2弾)3,376人 ②本事業を実施することで、延べ5,223人の宿泊者を確保することができ、約9,300万円の宿泊にかかる消費効果があった。	①利用者への効果的な周知方法の検討 ②新型コロナウイルス感染症の蔓延による宿泊者数の減少を緩和し、美浜町内宿泊施設への宿泊促進のため、令和3年度も同様のキャンペーンを実施

令和2年度 美浜町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

(単位:円)

No	交付金対象事業名	担当課	事業の概要 ①目的、事業の対象者等 ②交付金を充当する経費の内容	総事業費	うち 交付金 充当額	効果・検証 ①成果(具体的な数値を記載) ②検証(評価)	課題等 ①課題 ②今後の方向性
8	GIGAスクール整備事業	教育委員会事務局	①国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台PC端末の実現に向け、町内小中学校に学習用タブレット端末を整備する。 ②学習用タブレット端末(学習支援ソフト等含)購入費	31,496,520	28,295,000	①児童生徒用タブレット端末668台を購入し、GIGAスクール構想に掲げる1人1台端末の整備を行うことができた。 ②コロナ禍における学校臨時休業の際も家庭で教室と同じように学習することができる環境を整備することができた。	①整備されたタブレット端末を有効に活用するため、学校だけでなく常時家庭へ持ち帰っての学習や、児童生徒1人ひとりに応じた個別最適化された学習環境の整備が必要となっている。 ②今後の新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては、家庭学習を行う児童生徒の増加も予想されることから、Wi-Fi環境がない家庭に対する支援強化を図っていく必要がある。
9	スクールバスの増便	教育委員会事務局	①3密対策として、小中学校で運行するスクールバスについて増便を行う。 ②スクールバス運行业務委託料	16,699,265	6,500,000	①スクールバスの増便(大型バス768便増、中型バス47便増、小型バス197便増)を行った。 ②児童生徒が登下校する際のスクールバス内の密を回避することができた。	①新型コロナウイルス感染症が続くとバスの増便等を行う必要があることから経費の増大が見込まれる。 ②地域の感染状況を注視しながら、必要に応じてスクールバスの増便等を実施する。
10	福井県経営安定資金利子補給事業(基金造成)	産業振興課	①新型コロナウイルス感染症により影響を受けた町内企業に対する利子補給を継続的に行うための基金を造成する。 ②基金造成費	51,000,000	51,000,000	①R3～R7年度の事業費として基金を造成した。(造成額5,100万円) ②福井県経営安定資金(新型コロナウイルス対策分)を受けた町内中小企業者への利子補給に必要な資金を積み立てることができた。	①新型コロナウイルス感染症の収束の見込みが立たず、町内事業者の資金繰りは引き続き厳しい状態になることが見込まれる。 ②造成した基金を活用し、利子補給事業を令和12年度まで実施する。(基金充当期間は令和7年度までを予定)